

ヨーロッパ国際マスタークラス ドイツ国立音楽大学共同事業

要 項



TIAA

東京国際芸術協会

<主 旨>

これからもっと音楽を勉強したいという音楽家を対象に豊かな表現力や、可能性を引き出し、国際的に活躍できる音楽家の育成として、その学習機会を提供し、もって音楽文化の発展、向上に寄与することを目的として開催します。

<実施概要>

2017年7月から8月にかけて開催されるヨーロッパ国際マスタークラスは、ドイツでも最高位にあたる音楽大学の教授を招聘したマスタークラスです。ドイツのベルリン芸術大学やハノーヴァー音楽大学等の著名教授たちもケルン音楽大学教授に加わりマンツーマンの個人レッスンをを行います。教授陣によるコンサートも期間中に開催されます。

<マスタークラス受講期間日程>

A日程:2017年7月19日(水)~7月24日(月)

B日程:2017年7月27日(木)~8月2日(水)

C日程:2017年8月8日(火)~8月13日(日)

<渡航日程>

A日程:2017年7月18日(火)日本出発~7月26日(水)午前日本着(25日現地出発)

B日程:2017年7月26日(水)日本出発~8月4日(金)午前日本着(3日現地出発)

C日程:2017年8月7日(月)日本出発~8月15日(火)朝日本着(14日現地出発)

※現地滞在期間は、A・C日程が7泊8日、B日程が8泊9日です。

<開催地>

ハレマルティンルター大学及びライブツィヒ音楽大学

<受講対象楽器>

弦楽器、ピアノ、声楽

※下記教授陣の紹介にない楽器については、申し込み後に招聘いたします。

※管楽器対象のレッスンはございません

<レッスン曲>

全自由曲。60分レッスンを4回受講。

※ 曲の構成については、説明会(参加必須)時に現地教授陣アシスタントとの個別相談により変更も可能です

※ 一次締切前にお申込みの場合、事前に希望教授の指定ができます

<マスタークラス参加費>

申込金:150ユーロ 受講料:450ユーロ

通訳料:165ユーロ(要項記載の教授によるレッスンは同時通訳が必須です)

※要項記載以外の教示のレッスンで通訳を希望しない方でも、受講時に教授の判断で必要となる場合があります

※申込金と受講料及び通訳料は、ご請求発行時の当社規定レートで計算し、日本円でご請求いたします。

<ご請求総額の目安> ※マスタークラス参加費は含まれておりません。

A・C日程 第1次締切 412,515円 第2次締切 442,515円

B日程 第1次締切 424,580円 第2次締切 454,580円

※ 滞在費用・燃油サーチャージ・現地空港税は石油高騰やレートの変動がある為、ご請求書発行時の金額を適用いたします。

以下内訳

航空券代金:エコノミークラス

第1次締切 235,000円 第2次締切 265,000円

空港税:2,610円(利用空港によっては2,570円となります)

航空保険料及び現地空港税:14,530円

燃油サーチャージ:15,000円

※燃油サーチャージ、現地空港税は石油高騰およびレートの変動により金額が変わります。ご請求書発行時の金額を適用します。

滞在費用:A・C日程 665ユーロ(84,455円)、B日程 760ユーロ(96,520円)

()内は1ユーロ=127円計算の参考金額です。

【滞在費用に含まれるもの】

マスタークラス指定の4つ星クラスホテル滞在費(7泊/B日程のみ8泊・二人部屋利用(シャワー・トイレ付)朝食ビュッフェ付)、夕食4回分(B日程のみ5回)、到着時及び帰国時のホテル⇄空港間の交通費(タクシー利用)

※ご請求金額は請求書発行時の当社規定レートにて換算いたしますため、上記金額はレートの変動により変動します。

※シングルルームをご希望の場合、別途 50 ユーロ/1 泊の追加料金が必要です。お二人部屋はベッド間隔が狭くなっておりますので、広い空間がお好みの方はシングルルームがおすすです。

※二人部屋のご利用はお申込の先着順で承ります。その為、二人部屋のご希望者が奇数名いらっしゃる場合は、自己負担にてシングルルームをご利用いただく旨をご了承ください。

現地教授アシスタント兼通訳同行費:35,000 円

【ドイツ語通訳分野で国際会議等でも活躍、各音楽マスタークラスでの通訳も手がけている教授陣アシスタントの先生が通訳および皆様のレッスンのお手伝いいたします。また、安全のため、現地の空港からホテルまでの送迎(飛行機協会手配の方に限り)も行って頂きます。】

事務手続き代金:21,600 円

海外送金手数料:4,320 円

～宿泊・食事について～

※朝食(毎朝)・夕食(A・C 日程 4 回、B 日程 5 回)込

朝食はホテルでのビュッフェ。昼食は現地のランチスタイルで各自でお取りいただきます(費用自己負担となります)。

夕食はレストランでの食事(飲み物自己負担)。食事は原則的に皆様ご一緒の時間にまとまってお取りいただきます。

※ホテルでの滞在中およびレッスンへの往復の行程及びレッスン時において教授アシスタントが同行します。現地での行程詳細につきましては、説明会にてご案内いたします。

※宿泊は協会指定のホテル(1 箇所)での滞在中です。宿泊ホテルには現地教授アシスタントも一緒に滞在いたします。

～渡航について～

※Aコースは1次締切までのお申込に限り、日本から現地教授アシスタントが同じ飛行機に搭乗し、一緒に現地まで同行することも可能です。海外が初めての方でも安心してご渡航いただけますので、同行希望の方はご相談ください。

※成田または羽田発着の、ルフトハンザ航空等ヨーロッパ系航空会社利用となります。現地到着ライブツィヒ空港で現地教授アシスタントの先生が出迎えます。渡航時の注意点等については説明会で詳細な説明を行います。

※帰国便ではABC全ての日程コースで現地でのチェックイン完了時まで現地教授アシスタントの付き添いがございます。チェックイン後、成田空港または羽田空港までの付き添いはございません。

※東京以外の発着は、第一次締切までのお申込に限り、国内線の乗継便のお手配も受け賜ります。原則全日空便で、24 時間以内の乗継及び空席がある場合に限りお手配を受け賜ります。国内線分の代金が別途発生する場合があります。出入国前後で日本国内の宿泊先が必要な場合もお手配いたしますので、ご予算などご相談ください。

※マスタークラス終了後の延泊や、他都市を周遊してからの帰国のための帰国便の変更につきましては、オプションツアーのお手配も含めて、可能な限り承ります。別途航空券代の差額が発生する場合がございます。マスタークラス終了後、延泊期間及びその帰国便については自己責任の範囲となりますのでご了承ください。

※チェロ等、飛行機内持ち込みに制限がある楽器につきましては、機内座席を参加者ご自身の席を含め、2 席購入していただく場合がございます。詳しくはお問い合わせください。

～航空券を自己手配される方への注意点～

※航空券代及び空港税、空保険料及び現地空港税、燃油サーチャージを差し引いた額をご請求させていただきます。

※飛行機自己手配の方は、現地ライブツィヒ空港に、協会手配の飛行機の到着時間に合わせてご集合いただき一緒に滞在先のホテルまでご案内します。先に単独でホテルには向かわず、必ず空港集合となります。ライブツィヒ空港での集合時間はお申込みの際にお伝えします。帰国時は、ホテルにて解散となり、同行はありませんので、ご自身にて空港までご移動いただけます。協会手配の飛行機と同時間帯でも、空港までのご自身での移動となります。

※飛行機自己手配の方は、申込用紙に利用飛行機会社、便名、出発および到着日時を明記ください。

※自己手配の方においては飛行機の遅延等によって集合時間に集まらない場合、もしくは延着をしてレッスンに間に合わない場合、ご自身でホテルまで移動願います。

※上記事情において、ホテル滞在中やレッスン受講に変更が生じた場合、当協会は一切の責任を負いません。ホテル、レッスン代金等の返金もございませんので、自己の責任においてご対応をお願いいたします。

※自己手配の方は原則として1人部屋のみの手配となります。

※航空券を自己手配された方も例外なく、ホテルは協会の指定したホテルに宿泊していただきます。

※航空自己手配の方は、航空機でトラブル等が発生しても、東京国際芸術協会は一切責任を負いません。

<生活・費用等について>

※安全のため、現地にて夕食後、ホテルに戻って以降のホテルからの外出は、原則としてご遠慮いただきます。

※事前説明会において、曲目に関するアドバイス、レッスンの形態、現地での生活など、様々な疑問に対して、現地教授アシスタント同行通訳スタッフがご答えします。説明会でご説明した内容については順守していただきます。また、留学をお考えの方々に対しては、留学等のアドバイスもいたします。説明会は一括説明の後に、それぞれの方々からの個別質問、その後個別相談という形になります。

※原則的に滞在中は団体行動となりますため、お互いに配慮した行動をお願いいたします。

<ヨーロッパ国際マスタークラス参加及び渡航の際の注意点>

マスタークラス開催期間中は、現地教授アシスタントの指示に全て従って頂きます。現地教授アシスタントは皆様のレッスン時の通訳や教授とのコミュニケーションのお手伝いをいたします。空港までの送迎等にも同行いたしますが、添乗員

ではございませんので、ご参加の方は各自の責任において、渡航時及び現地の生活に注意を払っていただきますようお願いいたします。学費免除のオーディションの結果について、また、要項記載の代金、内容につきましてご不明点のある方は、直接東京国際芸術協会にお問い合わせください。

<修了証>

マスタークラス修了後にマスタークラス修了証を授与いたします。

<申込方法>

要項挟み込みの申込書に必要な事項を記入の上、パスポートのコピーを添えて、下記事務局までお送りください。お申し込み後、内金としてご旅行費用の一部(10万円)をお振込みいただきます。お振込先はお申込書提出後ご案内いたします。お振込後、定員に達しないなどの理由により当マスタークラスが実施されない場合には全額をご返金いたします。申込書ご提出後、当協会、また教授陣アシスタントの方との連絡手段は主にメールとなります。パソコンメールのアドレス(ない場合は携帯のアドレス)を必ずご記入下さい。必ずパソコンからのメールを受け取れるようにしてください。申込書ご提出後は当協会や教授陣アシスタントからのメールによる連絡を見落とさないようお願いいたします。

<申込締切日>

第1次 申し込み締切 2017年 3月 15日(水)

第2次 申し込み締切 2017年 5月 15日(月)

※それぞれ 締切日必着(FAXの場合までは同日 18時まで)

但しそれ以前でも、申込者が定員になり次第、締切られます(定員:各日程6名)。

最少催行人数(各コース3名)に達しない場合はコースの変更をお願いする場合がございます。

※お申し込み後、協会よりご請求書を発行致しますので、その後のお振込みとなります。

本マスタークラスではコンクール・オーディションにおいて成績優秀者に学費免除推薦が認められています。お申込みや締切の後に学費免除推薦の事後申請をいただけますので、お早目のお申込みをおすすめします。

※本マスタークラスは3月末が現地受付締切ですが、この度、東京国際芸術協会からのお申込みに限り締切を延長いただいております。追加レッスンや教授のご希望など先着順とはなりますが、貴重な機会をぜひご活用ください。

<キャンセルについて>

申し込み後のキャンセルの際はキャンセル料として事務手続き代金 21,600円をお支払い頂きます。加えて、申込締切日以降のキャンセルにつきましては旅行費用から航空券代金を引いた額の50%、渡航1ヶ月前以降のキャンセルは旅行費用から航空券代金を引いた額の75%、無連絡不参加及び旅行開始後のキャンセルは旅行費用から航空券代金を引いた額の100%をお支払い頂きます。

※渡航業務に関しては東京国際芸術協会より下記の旅行会社に委託します。

株式会社東京国際ツアーズ 観光庁長官登録旅行業 1353号 (社)日本旅行業協会正会員

〒116-0002 東京都荒川区荒川 3-74-6-301 TEL 03-6806-7820 FAX 03-3806-8556 master@ti-tours.com

※航空券につきましては早期割引運賃航空券のため、原則予約変更不可です。予約の変更や取り消しの場合は航空会社所定の手数料及び弊社手数料を頂戴します。

※渡航手続き関連で必要な個人情報を(株)東京国際ツアーズと共有いたします。(株)東京国際ツアーズより直接ご連絡を差上げますので予めご了承ください。

<その他>

※参加にあたってはご滞在期間をカバーする海外旅行保険の加入が義務付けられています。クレジットカード付帯の保険、その他ご勤務先の団体医療保険等は一切認められておりません。必ず保険会社の海外旅行保険にご加入ください。当社がお勧めする海外旅行保険のパンフレットは、ご請求書送付時に一緒に送らせていただきます。

※宿泊先、食事の自己手配はできません。航空券自己手配の方も現地集合後は安全上同行の教授アシスタントの指示に従ってください。

<説明会について>

マスタークラス全体説明会を2017年6月18日(日)に都内会場にて行います。会場や日時等の詳細については決定次第お申込者様にご案内いたします。説明会には必ず参加をお願いいたします。ご参加者本人のご都合がどうしてもつかない場合は、代理人(ご家族様)が必ずご参加ください。また、未成年の方は保護者様の参加もお勧めしております。

<お問合せ・お申込先>

東京国際芸術協会

〒116-0002 東京都荒川区荒川 3-74-6-301

TEL 03-6806-7108 FAX 03-3806-8555 <http://www.tiaa-jp.com> E-mail: info@tiaa-jp.com

＜マスタークラス教授＞ ※各教授の担当日程は変更の可能性があります。詳細はお申込時にご案内いたします。

ピアノ



Bernd Goetzke (ハノーヴァー音楽大学教授) A 日程

1951年ドイツ、ハノーヴァー生まれ。ハノーヴァー音楽演劇大学に13歳で入学を認められた。カール＝ハインツ・ケマーリングに師事し、1975年にはコンサートソリストのディプロマを取得。ピアニストへの道筋でのもう一つの重要な出来事は、彼を最後の弟子とみなしていたアルトゥーロ・ベネデッティ・ミケランジェリとの長期(1969年から1977年)に亘る師弟関係があげられる。彼はまたヴィルヘルム・ケンプ、クラウディオ・アラウによるベートーヴェンの講習も受講。様々な国際コンクール(パリ、ミラノ、エピナル、アテネ、ブリュッセル等)で賞を獲得。25歳ですでにハノーヴァー音楽演劇大学の講師となり、1982年には教授となる。現在彼はドイツで最も求められる指導者、そして音楽家である。世界中から集まる若いピアニストを指導し、その多くは国際コンクールで入賞している。ハノーヴァーでコンサートソリスト学科長を務めるかわら、ドイツ国内、世界各地において多くのマスタークラスを実施。また大学以外においても、ソリスト養成や若い才能の開発に携わる。多くの国際コンクール(モスクワ、ミュンヘン、ポルツァーノ、オルレアン、オスロ、ロンドン、サンクト・ペテルブルグ、ハリコフ、ソルトレイクシティ、深セン、上海、仙台その他多数)において審査委員を務める。また、ブラウンシュバイク音楽祭では芸術顧問、若い芸術家を支援する協会の会長などを、また、2000年以降は優れた才能ある子どものために新設された協会の理事長を務めている。この機関は彼の構想に基づくもので、ハノーヴァー音楽演劇大学に付設され、ドイツ初のものである。彼のコンサートレパートリーはバッハ、スカルラッチィ、ハイドン、ベートーヴェン、シューマン、ドビュッシーの作品が中心であるが、20世紀の作品もまた多く、これらは後期ロマン派から前衛に至る時代の豊富な語法や多様性をもった彼の魅力を反映したものとなっている。室内楽、コンチェルトのレパートリーとしては、メシアン:「世の終わりのための四重奏曲」、シェーンベルグ:「月に憑かれたピエロ」、バルトーク:2台のピアノと打楽器のためのソナタなどがあり、バルトーク:ピアノ五重奏曲、ガーシュウィン:2つのラプソディー、スクリャーピン:「プロメテウス」等をドイツ初演した。これまでに、幾つかの論文も発表している(「解釈の自由性について」「ペダル技法」「バッハの旋律的特性」「古典音楽のアーティキュレーションとフレーズング」等)。※受講希望が集中するレッスンの為、一次締切までのお申込みをおすすめします。



Andreas Frölich (ケルン・アーヘン音楽大学教授) A 日程

ドイツに生まれ、ピアノをStefan Askenase, Margulis Vitaly, Pavel Gililovに師事。国際的なピアノコンクールで、数々の受賞歴を持つ。また、アムステルダム・コンセルトヘボウ、ウィーン楽友協会、プエノス・アイレスのテアトロ・コロンをはじめ、世界各国多数の名だたるコンサート会場での演奏経験も豊富。ラインガウ音楽祭、シュレーズヴェヒ＝ホルシュタイン音楽祭、ザルツブルク音楽祭など、音楽祭での世界的活躍も著しい。ソリストとして、ウィーン室内管弦楽団、ミュンヘン室内管弦楽団、ボン・ベートーヴェンオーケストラなど多くの著名なオーケストラとの共演も重ねてきた。自身がメンバーの一員であるベルリン・メンデルスゾーン・トリオは、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスターが率いるアンサンブル・ウィーンとも頻りに共演している。彼の演奏は、現在に至るまで、数々のラジオ局を通してドイツ国内外に届けられ、35枚以上のCDが複数のレーベルから発表されている。ドイツ・アーヘン国際ピアノコンクールやモーツァルト国際音楽祭では、芸術監督も務めた。ケルン・アーヘン音楽大学で教鞭をとり、モーツァルトウム音楽大学夏期国際音楽アカデミーでは、客員教授を務めている。現在にいたるまで、彼の教え子達は国際ピアノコンクールにおいて、1位と2位だけでも50以上の受賞成績をおさめている。ボン国際ベートーヴェンピアノコンクールなど、数多くの国際ピアノコンクールで審査員としても活躍中。



Gilead Mishory (フライブルグ 音楽大学) B 日程

1960年にエルサレムで生まれ、Rubin-Akademieで学んだ。Alfred Brendelの勧めにより、ミュンヘンでは、Gerhard Oppitzに、ザルツブルグでは、Hans Leygrafに師事した。様々なオーケストラと共演し、有名な音楽家達と室内楽で共演した。世界中の全ての時代の曲を演奏するが、特に、20世紀、21世紀の音楽にも目を向けている。Leoš Janáčekの全曲集(ピアノソロ及び室内楽)を、初めて演奏した。Haydn, Brahms, Schubert, Bartókの曲をCDにレコーディングし、自分自身の曲もラジオに録音されている。「響きの魔法使い」「技術的に完璧なピアノの詩人」「エスプリと魅力が漂う響きに大きな意味を持つピアニスト」と感動的な講評で持って彼は称賛されている。1998年に初演されたSutzkeverの詩に對しての'Lider-Togbuch'歌曲集で、彼は作曲家としても突破口を見出した。インスピレーションの原点として、彼の文学への親近感から、Else Lasker-Schülerからの'Hebräischen Balladen'、Anne Michaelの小説より'Fluchstücke'、Paul Celanより'Psalm'弦楽四重奏、Marc Chagallの詩によるテノールとオーケストラの為の'Di wajte hajmat majne'等の作品がある。彼の初めてのオペラ作品'Isaaks Jugend'は、2010年に完成し、彼の数々の曲と共に、2011年CD化された。2000年から2年間Hochschule Detmold-Dortmundで教授を務め、フライブルグ音楽大学の教授となる。彼は定期的に世界中からマスタークラスの指導者としても招聘されている。2014年には、USA、フランス、日本、ドイツ、イスラエルでコンサートを行う。彼の5重奏曲、'Sham Yesh'、ピアノ曲'An Aeneas'は、ヨーロッパピアノコンクール(プレーメン)で、'Peermusic'として初演されるであろう。彼のドビュッシープレリュード全曲集がレコーディングされCD化される。



Christian Wilm Mueller (ワイマール・フランツリスト音楽大学) C 日程

ワイマールではVolkmar Lehmannに、ウィーン・シュトゥットガルトではOleg Maisenbergに師事。ワイマール・リスト・トリオでの活躍も評判で、世界各地で演奏ツアーを開催。また、ベートーベン音楽祭をはじめ、多くの音楽祭での演奏経験も豊富。ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団など、世界的に著名なオーケストラとの共演も果たす。日本では、NHK交響楽団と共演。多数のコンクールで受賞歴があり、彼の演奏は、CD・ラジオ・テレビを通して、国境を越えた評価を得ている。2007年よりワイマール・フランツリスト音楽大学でピアノ教授を務め、国内外でレッスンを開催。

ヴァイオリン



Tomasz Tomaszewski (ベルリン芸術大学教授) A 日程

ポーランドで生まれ、ワルシャワ音楽院でWrónskiの元で学ぶ。その後、レニングラード音楽院ではGutnikovの元で学び、フライブルクではMarschnerの元で研積を重ねる。ヨーロッパやオーストラリアでPolish String Quartetと共にコンサートツアーで周り、ソリストとしても、様々なコンサートツアーを行う。1982年以来、ベルリンオペラ座のコンサートマスターを務める。また、1983年より、ベルリン芸術大学で教授を務める。{ベルリンオペラ座の室内楽ソリスト}グループの代表であり、1988年よりコンサートを開催している。日本や中国、アメリカでもコンサートを開き、また多くのレコーディングも行っている。※受講希望が集中するレッスンの為、一次締切までのお申込みをおすすめします。



Nicolas Koeckert (ウイーン音楽大学教授) B 日程

1979年に、ミュンヘンの有名な音楽一家に生まれる。バイオリンの基礎をロシアの師 Olga Voitowa に学び、16歳でヴェルツブルク音楽大学の Grigori Zhislin 教授に師事して本格的にバイオリンを学び始める。1998 年からは、ケルン音楽大学にて Zakhar Bron 教授に師事、2007年には優秀な成績で修士号を獲得した。長年に渡って、国際的にメジャーな舞台で活躍を続け、情熱的かつあたたかな演奏とたしかな技術は、観客もマスコミをも魅了している。2001年ノヴォシビルスク国際バイオリンコンクールで優勝し、世界三大コンクールの1つといわれるモスクワのチャイコフスキー国際コンクールでは、ドイツ人として初めての受賞成績を残す。その功績を讃えて、バイエルン州は彼に芸術賞を授与した。2003年モントリオール国際音楽コンクールでも表彰され、リアナ・イサカーゼ国際コンクールでは2位を受賞。Lawrence Foster, Sir Colin Davis, Michail Jurowski, Jonathan Nott をはじめ、著名な指揮者達との共演歴も豊富。また、ロシア・ナショナル・フィルハーモニー管弦楽団やロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団など、世界各地の名高いオーケストラや室内楽奏者とも数多く共演している。現在は、クラシック音楽レーベル Naxos とも精力的に活動を共にしている。彼のディスコグラフィは、受賞歴もあり、Fritz Kreisler 編曲のロシアとスラヴの小品集は、イギリスの弦楽器専門誌 The Strad の月間推薦 CD にも選ばれた。なかでも、José Serebrier の指揮でイギリスのロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団と演奏した Aram Khachaturian の Violin Concerto and Concerto-Rhapsody は、Naxos の月間推薦 CD として選ばれただけでなく、長年の間ベストセラー3位に君臨した。最新の CD では、ピエール・ロードによるバイオリン楽曲を、自身の父である Rudolf Koeckert と共に収録して、多数のラジオやテレビ番組に取り上げられた。数年間に渡って国内外で定期的にマスタークラスの講師としても活躍して、2011年からはウイーン音楽大学で教授として指導を続けている。ミラノの Giovanni Battista Guadagnini 制作のバイオリンを愛用。*受講希望が集中するレッスンの為、一次締切までのお申込みをおすすめします。



Kathrin ten Hagen (ライプツィヒ音楽大学教授) C 日程

14 歳という若さでイフラ・ニーマン国際コンクールや Jakob-Stainer コンクールで2位を受賞。イフラ・ニーマン国際コンクールでは、モーツァルト賞も受賞。14歳でニュルンベルク交響楽団と同じ舞台でデビューを飾って以来、ハンブルク交響楽団やモスクワ放送交響楽団など世界各地で数多くのオーケストラと共演を続けている。ベルリン芸術大学では Antje Weithaas に師事。また、ザルツブルクのモーツァルテウム音楽大学では Igor Ozim に師事し、優秀な成績で学士号を取得した。2007年~2009年、ニューイングランド音楽院で奨学生として、Donald Weilerstein に師事して修士号を取得、卒業。自身も、Thomas Brandis, Zakhar Bron, Robert Mann をはじめ、多くの師から国際的なマスタークラスでレッスンを受けた経験を活かし、若者の音楽交流や教育に精力的に取り組んでいる。講師経験として、Donald Weilerstein の助手や、Yellow Barn Festival・International Music Academy Chernihiv のマスタークラス講師などがある。彼女の演奏は、オランダの著名なクラシックラジオ放送で取り上げられ、受賞歴も豊富。一例として、2007年カリフォルニア国際青年音楽コンクール優勝、2009年 Donald Portnoy 国際バイオリンコンクール優勝、が挙げられる。また、シュレースヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭(ドイツ)や the Yellow Barn Festival(アメリカ合衆国)をはじめ多数の音楽祭での演奏経験がある。室内演奏者としての活躍も著しく、多くの著名演奏家や室内楽団と共演してきた。設立メンバーでもある TenHagen 四重奏団は、ドイツの 2011 年オーベルストドルフ夏季音楽祭等で特別賞を受賞。現在、クラシック音楽を広めるべく、ラルス・フォークト(サイモン・ラルも認めたドイツのピアニスト)が設立したプロジェクトに参加して、学校での演奏会にも積極的に参加している。彼女が特に興味関心を寄せるのは、現代音楽で、1970年代以降の作曲家(Henze, Lutoslawski, Marschner, Balassa, Suslin, Widmann, Yun and Zimmermann 等)の曲目演奏にも定評がある。2007年には、Jörg Widmann による現代音楽 Etude IV の演奏が評価されて、Ruggiero Ricci コンクールで特別賞を受賞。



Andreas Lehmann (ワイマール・フランツリスト音楽大教授) C 日程

1984年から10年間、Jost Witter 教授に師事。ワイマール・フランツリスト音楽大学、大学院で学ぶ。マスタークラスを通して、Wolfgang Marschner, Igor Ozim, Ruggiero Ricci をはじめ、多くの著名な師からも指導を受けた。1994年には、母校で音楽アシスタントとなり、2000年から2年間は母校とカッセル音楽アカデミーにてバイオリン講師を務める。1997年には、メクレンブルク=フォアポンメルン音楽祭の Junge Elite 国際コンクールで優勝。2002年、マクデブルク大学でバイオリンと室内楽の行使に就任し、2006年にワイマール・フランツリスト音楽大学のバイオリン教授に任命される。マウリシオ・カールゲル作品をワイマール・リスト・トリオと共に演奏した際は、ラジオ放送だけではなく CD 発表も行った。2007年には、ボン・ベートーヴェン音楽祭にも出演。リスト大学室内管弦楽団、ライプツィヒ室内管弦楽団、中央ドイツ室内管弦団などでリーダーも任されてきた。コンクールでの審査員経験も豊富で、マスタークラスにも定評がある。

チェロ



Maria Kliegel (ケルン音楽大学教授) A 日程

現代における最高のチェリストの1人である。1987年パリでのロストロポーヴィッチコンクールに優勝し演奏家としてのキャリアが始まる。彼女の多くのナクソス社からのレコーディングには、ベートーヴェン・ブロッホ、ブラームス、ブルッフ、ドヴォルザーク、エルガー、ラロ、サンサエン、ショスタコーヴィチ、シューマン、タベルネル、チャイコフスキー他有名な協奏曲が含まれている。ベートーヴェンにおいては全作品のレコーディングを終えている。また、室内楽もブラームスやショパンに至るまで、様々な作品がCDにレコーディングされている。また、現代作品の発表にも力を尽くし、南アフリカ前大統領マンデラ氏へのオマージュでは、南アフリカ国から招聘される。1986年にケルン音楽大学の教授となり現在に至る。彼女は、1693年にストラディバリウスによって作られた伝説のチェロ(モーリス・ジャンドラによって所有され、後に NRW に)を使用している。フランクフルトにて Molzahn 教授に学び、アメリカにて Janos Starker に学ぶ。2001年より、ピアニストの Nina Tichmann、ヴァイオリニストの Ida Bieler と XYRION TRIO として活動を行っている。

*受講希望が集中するレッスンの為、一次締切までのお申込みをおすすめします。

ギター



Andrzej Mokry (ハレ・ウィッテンベルグ マルティンルター大学教授)

Andrzej Mokry は、ポーランドに生まれ、ワルシャワ音楽アカデミーで Marcin Zalewski に、ケルン音楽大学では、Dieter Kreidler に師事し、ブリュッセルでは、Odair Assad に師事した。彼は様々な国内外のコンクールで優勝し、ヨーロッパ諸国及び日本へのコンサートに招聘されている。また、同時にテレビやラジオへの出演、CD も数多くレコーディングされている。リサイタルと同時に、ソリストとして Gewandhaus Orchestra Leipzig、Orchestra "Klassika" St. Petersburg、Philharmonic Chamber Orchestra Katowice、Wuppertaler Symphoniker 等、数多くのオーケストラと共演している。

声楽

Brigitte Lindner (ケルン音楽大学教授) B 日程

ミュンヘン音楽大学在学中より、ドイツのレコードレーベル EMI-Electrola でソリストとして活躍。当時の収録作品には、「ヘンゼルトグレーテル」や「魔笛」などがある。Hanna Scholl-Völker, Helen Donath, Nicolai Gedda に声楽を学んだ。その後、ドイツのブラウンシュヴァイク劇場で、常任のソリストとしてデビューを果たし、グレーテル(ヘンゼルト)とグレーテル、マリア(ウェスト・サイド・ストーリー)、ヴァランシエンヌ(メリー・ウィドウ)などを演じる。また、バイロイト音楽祭では、長年におわたって、Giuseppe Sinopoli 監督のもと、タンホイザーより "Young Shepherd Boy" を披露している。国内外での活躍やを重ね、フランクフルトの旧オペラ座(アルテ・オーパー)の音楽祭で Rene Kollo や Francisco Araiza と共演したり、バート・エムスフェスティバルではケルン・フィルハーモニーと共演。ラジオやテレビでも頻繁に注目され、複数のレーベルから数多くの CD を発表し、若手の教育にも熱心に取り組む。



2017年 ヨーロッパ国際マスタークラス

※必ず要項の内容をよく確認した上でご記入ください。申込用紙に不備・記入漏れがある場合、申込手続きができない場合がございます。

ふりがな						写真 (4.0cm × 3.5cm)
氏名	姓				名	
ローマ字	(LAST NAME)			(FRIST NAME)		
パスポート記載名 (ローマ字)	(LAST NAME)			(FRIST NAME)		
生年月日	年	月	日	年齢	歳 性別 男・女	
ふりがな						
保護者氏名	※18歳以下の方は保護者の同意をお願いします ㊞					
住所 (書類送付用)	〒 _____ 都道 _____ 区・市 _____ 府県 _____ 郡 _____					
電話番号	()		携帯電話	()		
FAX	()		e-mail(必須)			
パスポート番号	_____			国籍	_____	
	<small>※更新中の方は更新中と記入し、取得次第書面(FAX・メール可)にてご連絡ください</small>					
緊急連絡先	〒 _____ TEL _____					
レッスン曲目 ①	邦題<作曲者名>		<邦題>		<演奏時間>	
	原語<作曲者名>		<作曲者の年代>		<原題>	
<small>※欄外参照</small>						
レッスン曲目 ②	邦題<作曲者名>		<邦題>		<演奏時間>	
	原語<作曲者名>		<作曲者の年代>		<原題>	
<small>※欄外参照</small>						
専攻楽器		日程 コース	第一次申込 A日程・B日程・C日程 第二次申込 A日程・B日程・C日程			
希望教授		部屋	一人部屋(追加料金有り)・二人部屋			
学歴・賞歴						
現在までに師事した先生						
航空券手配	<input type="checkbox"/> 航空券自己手配を希望します 自己手配希望の理由: <input type="checkbox"/> 航空券アレンジを希望します(関空発等) アレンジの詳細:					
	※希望者のみご記入ください					
署名	上記の内容で申込をします 署名 _____			日付	印	

※レッスン曲の原語は作曲者(フルネーム)、作曲者の年代、曲名の順番で記入してください

例) Ludwig van Beethoven (1770-1827) aus Klaviersonate Nr .30 op109

1,Vivace ma non Troppo

2,Prestissimo

3,Gesangsvoll, mit inniger Empfehlung ,Andante cantabile ed espressivo